

気候情報

2022年6月の日本の天候

- 東・西日本の気温はかなり高く、下旬は記録的な高温となった
- 西日本太平洋側の降水量はかなり少なく、東日本日本海側と西日本太平洋側の日照時間はかなり多かった
- 北日本日本海側と北日本太平洋側の降水量はかなり多く、沖縄・奄美の降水量は多かった

6月の天気概況

上旬から中旬にかけて、北・東日本では曇りや雨の日が多かった。梅雨前線が沖縄付近に停滞し、沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。下旬は、太平洋高気圧の張り出しが強まり、梅雨前線が北日本まで北上し、大雨となった所があった。一方、東・西日本と沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われ晴れの日が多かった。東・西日本の各地と東北南部では記録的に早く梅雨明けしたとみられる(速報値)。気温は、月の前半は全国的に平年を下回ったが、月の後半は東・西日本を中心に平年を上回った。特に下旬は東・西日本で記録的な高温となった。

上旬：北日本では、曇りや雨の日が多かった。東・西日本では、旬のはじめは関東地方を中心に大気の状態が不安定となり、各地でひょうの被害が相次いだ。旬の中頃は低気圧や前線の通過によりまとまった降水となった。旬の終わりは西日本を中心に晴れた日が多かった一方、東日本太平洋側では曇りや雨となった所があった。沖縄・奄美では、曇りや雨の日が多かった。

旬平均気温は、北日本でかなり低く、東日本で低かった。西日本と沖縄・奄美では平年並だった。

旬降水量は、北・東・西日本日本海側、北・東日本太平洋側と沖縄・奄美で多かった。西日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、西日本太平洋側でかなり多く、西日本日本海側で多かった。一方、沖縄・奄美でかなり少なく、北日本太平洋側で少なかった。北・東日本日本海側と東日本太平洋側では平年並だった。

中旬：北日本では、天気は数日の周期で変化した。東・西日本と沖縄・奄美では、曇りや雨の日が多かったが、東・西日本では日本海側を中心に高気圧に覆われて晴れた日もあった。沖縄地方では、旬の終わりに太平洋高気圧に覆われて晴れた所が多かった。

旬平均気温は、全国で平年並だった。

旬降水量は、東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側で少なかった。一方、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側と北日本太平洋側では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本太平洋側で少なかった。北・東・西日本日本海側、北日本太平洋側、沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：旬のはじめは梅雨前線が本州付近に北上し、東・西日本を中心に曇りや雨となった。奄美地方では太平洋高気圧に覆われて晴れた所が多かった。24日から25日にかけては前線を伴った低気圧が北日本を通過し、その後に太平洋高気圧の張り出しが強まり、梅雨

前線は北日本まで北上した。このため、北日本では曇りや雨となり、大雨となった所があった。東・西日本と沖縄・奄美は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が続いた。

旬平均気温は、北・東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。

旬降水量は、北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多かった。一方、西日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、東・西日本日本海側と東・西日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。北日本日本海側で少なく、北日本太平洋側では平年並だった。

6月の気候統計

月平均気温：東・西日本でかなり高く、沖縄・奄美で高かった。北日本では平年並だった。

月降水量：北日本日本海側と北日本太平洋側でかなり多く、沖縄・奄美で多かった。一方、西日本太平洋側でかなり少なく、東・西日本日本海側と東日本太平洋側で少なかった。

月間日照時間：北日本太平洋側で少なかった。一方、東日本日本海側と西日本太平洋側でかなり多く、東日本太平洋側と西日本日本海側で多かった。北日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 6月の記録(1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温の高い方から(°C)
米子(鳥取県)23.8など13地点
- ・月降水量の多い方から(mm)
江差(北海道)244.0など2地点

2022年6月の平年差(比)図

